

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 2月 20日

事業所名 こばんはうすさくら 西東京教室

保護者等数(児童数) 33 回収数 20 割合 60%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	20					
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	11	3		6	当日の職員数不明瞭。 どんな方が指導している？	職員の紹介の手紙を配布
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	13	3		4		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	18	1		1	教室の壁がホロボロなのが気になる。 もう少し見た目がきれいになると衛生的にいいと思う。	汚い壁紙は剥がし、壁面を作り、貼る。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	19	1			こちらの希望に添った支援計画を作成してくれているので有難い。	現状維持
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	16	1		3	そのガイドラインという物をそもそも知らない。	面談時に一緒に確認をする。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	18	1		1	遊びや一日の活動については分かる内容の報告を頂いていますが、「支援」内容としては、やや物足りなさを感じています。	常勤会議を開き、支援内容の見直し、改善をする。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	17	2		1	色々な活動内容をさせて頂きありがたいです。家ではできない活動をしてくれて嬉しい。	現状維持
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	2	2	11	個人的には交流を作る機会あります。	幼稚園などと交流を図り一緒に活動する機会を作る。
保護者 への 説明 等	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19	1				
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	17	1		2		
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	5		6	9	お知らせをきいたことがない	
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	17	2		1	もう少し専門的なフィードバックが欲しい。 今日したこと等は教えてもらうが、出来た事、出来なかった事、も教えて欲しい。	送迎時に
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17	1		2	半年に一度なので何とも言いえない	
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	2	14	3	ぜひ開催して欲しい。	
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	17	2		1		
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	20				HUGでのやり取りができて助かります。	
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	13	3		4		
	19 個人情報の取扱いに十分注意されているか	17		1	2	HUGに載っている写真で児童のフルネームが見えていた。	写真の確認の徹底。常勤二人で2度チェックする。
非常時 等の 対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	12	1	2	5	不審者対応マニュアルや緊急事対応マニュアルがあるのか知りたい。	マニュアルがあるので面談時に一緒に確認し、必要であれば持って帰ってもらう。
	21 非常災害の発生に備え、定期的避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	1	1	12	訓練を実施しているかについては分かりません	職員のみ避難訓練は実施している。 今後は児童も一緒に参加し訓練をする方向で話を進めていく
満足 度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	19	1			いつも楽しみにしています。	
	23 事業所の支援に満足しているか	19	1			トイレをお願いしたいが、他の児童はどの様になっているのか知りたい。 送迎や支援を丁寧にしてくださり、ありがとうございます。	送迎時に困りごと等あるか確認し、都度対応する。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 20日

事業所名 こばんはうすくら 西東京教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	1	整理整頓を心がけ、広く使えるようにしている	児童、指導員合わせて人数が多い時がある。改善として、午前教室と午後教室に分け、1部屋を広く使えるようにする。
	2 職員の配置数は適切であるか	5	3	固定シフトにし、配置基準以下にならないよう心掛け、足りない日は前もって非常勤の方に声をかけさせてもらっている。	課題としては、土曜日に手薄になりがちなので、早めの声かけをし、充分な人員配置をとるように務める
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	2	事務所からも見えるように窓が付いている。柱の角等にスポンジで安全性を確保している。	1部屋しかないので障害に応じた部屋が欲しい。仕切りで空間を確保し、状況に応じた支援を行っている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	2	机の位置や掃除の際にハイターを使い掃除をしている。	子どもがゴミを拾って渡してくれることがあるので、こまめに粘着テープがついたコロコロで掃除する。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している			月に一度PDCAをし都度確認している。	非常勤の方までに常勤会議の内容が降りて来ない事があったので、議事録を作成ししっかり周知する。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	4	保護者評価表をまとめ回収している。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	4		
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	5		
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	3	研修に参加し、まとめ、回収し分からない事があつた場合、研修に参加した職員に質問している。研修の参加を助めてくれる	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	0	一人一人に合った教材が用意されている。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	6		
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8	0		
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7	1		
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	常勤会議で行われている。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	4	制作・音楽活動・机上活動と活動の種類を増やしている。日によって変えている。立案者を定期的に変える。	やや少なく感じる。徐々に増やしていければと思う。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7	1		
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	2	前日に打ち合わせ、当日の朝に周知している。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	3	気付いたことをノートにメモしている。	非常勤の職員は通勤時間が異なる為振り返る時間がない。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	記録をファイルに保管し時間がある時に見るように促している。	
関係機関や保護	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8	0	定期的に面談に参加している。ローテーションで非常勤も面談に参加	
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0		
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	2		
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	6	2		該当児童がいない
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	6	2		該当児童がいない
25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	1			

保護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	1		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	1		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	8	0	公園や児童館を利用しフィールドワークとして活用している。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5	3		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	送迎時に保護者様と交流するように、努力している	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6	2		家族支援プログラムを実施する。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	1		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	8		今後開催予定。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	電話対応後迅速に対応している。職員間で情報共有し、迅速な対応が出来ている。トイトレ等の共有。	
非常時等の対応	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	1		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8	0	個人のファイルは鍵付きのロッカーで保管している。他児が写りこまないように配慮している。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	絵カードを用意したりし何事にも積極的に取り組んでいる。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	5		
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	1	空いた時間にマニュアルを見るように促されている。	習慣化が必要。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	5	放デイの防災訓練に時々参加している。	行っているのは知っているが参加した事がない習慣化が必要。
非常時等の対応	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	1		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	1	表を作成しみんながわかるようにされている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	1	時間がある時にヒヤリハットを見るように促し、同じことが起きないように注意喚起している。	ヒヤリハットをすべて把握しているわけではないので、時間を見つけて見るようにする。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0	虐待防止・身体拘束について会議している。連日事後アンケートを実施。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7	1	虐待・身体拘束防止委員会を開き、議事録を書き回覧している。	